



苦労したほどでした。それでも、11月末の近日点通過に向けて次第に増光してきて、11月4日の夜の段階では、しっぽの写りも長くなり、彗星らしい緑色も付いてきて、それなりに成長してきました。11月4日の眼視観測では9等くらいと見積もりました。このペースのままですと、肉眼で見える彗星にはならないのではないかと思います。

ラブジョイ彗星は、発見されて間もないですが、10月6日の段階でも彗星らしい緑色が写真で写っています。10月26日夜の観測は、月のすぐ近くだったため、写りが良くありませんが、10月29日、11月4日と順調に明るくなってきており、尾も少し伸びてきています。眼視では12日の夜に、神野山にて10cm屈折で確認できていますが、11月4日になると、8×42の双眼鏡でもすんなりと見つけることができ、10cm屈折では、コマがまん丸ではなく少し卵形に変形して、尾が出ている気配を感じさせます。なかなか立派な彗星です。11月4日段階での眼視観測では光度は6等台前半と見積もりました。ラブジョイ彗星は11月末がもっとも明るくなりそう、ということですので、空が暗ければ、肉眼でも見えるくらいになるのではないかと期待されます。

エンケ彗星は3.3年周期で太陽を回っているのですが、その度に観測のチャンスがあるのですが、今回は、地球との位置関係が良い条件でした。眼視でも写真でも、しっぽはあまりよく分からず、全体に丸く大きな彗星像になっています。眼視では、大きい分淡くなってしまうので、明るさの割には見えやすくなかったです。11月下旬が最も明るくなる時期と予報されています

リニア彗星は、そもそも、予報

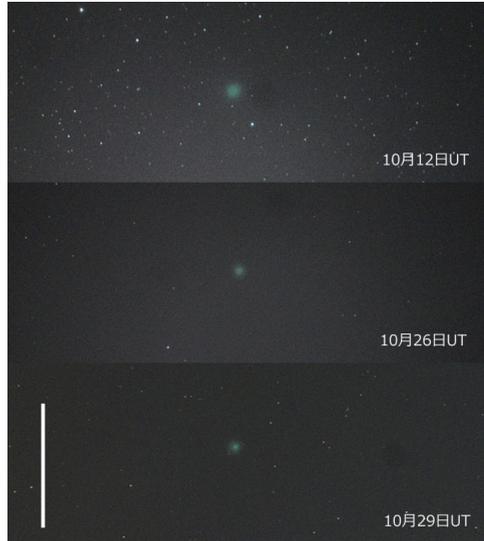


ラブジョイ彗星



では14等台と、私の機材では手が出ない暗い彗星だったのですが、10月中旬に突然増光して(このような彗星の突然の増光を「アウトバースト」といいます)8等台半ばまで明るくなった、というニュースを知り、10月29日の夜に観測を試みました。月が出ている上に、低空での観測だったので8等台の彗星にしては苦労しましたが、写真にもおさめ、10cm屈折で眼視でも確認しました。全体にうっすらとした丸い光でした。この彗星は、来年3月頃に太陽に最も接近します。そのころまで今のアウトバーストの明るさが持続するとも思えないので、今後の挙動はどうなるかよく分かりません。それも彗星を追う楽しみの一つですが。

11月以降も、特にラブジョイ彗星とアイソン彗星に注目して、追跡していくつもりです。アッと驚く変化は起きるでしょうか。



エンケ彗星



リニア彗星

飯山 青海(科学館学芸員)

撮影データ 時刻(UT)/露出/ISO感度設定/絞り

対象	10月6日	10月12日	10月26日	10月29日	11月4日
アイソン	18:30/240秒 /1600/F4.5	18:38/300秒 /1000/F4.5	20:01/30秒 /3200/F4.5	19:45/240秒 /1000/F5.6	19:20/240秒 /1000/F4.5
ラブジョイ	18:08/240秒 /1600/F4.5	16:37/180秒 /1000/F4.5	20:02/30秒 /3200/F4.5	15:59/240秒 /1000/F4.5	19:12/240秒 /1000/F4.5
エンケ		17:49/240秒 /1000/F4.5	19:51/30秒 /3200/F4.5	18:58/240秒 /1000/F5.6	
リニア				19:40/240秒 /1000/F5.6	

(すべてに共通) カメラ:Fuji FinePix S5Pro レンズ300mF4.5
GPD赤道儀で自動ガイド RAWで撮影し、フォトショップで調整・トリミング。